

◆下記の問題文（50問）を読んで、あてはまると思うものを選択し、その番号を解答用紙に記入してください。

1. <sup>のへじみなと</sup>野辺地 <sup>にほんかいがわ</sup>湊にも訪れ、<sup>せとないかい</sup>日本海側や<sup>とお</sup>瀬戸内海を通り<sup>おおさか</sup>大坂（大阪）へと<sup>ぶっし</sup>物資を運んだ、  
<sup>えどじだいまつき</sup>江戸時代末期から<sup>めいじき</sup>明治期に<sup>かつやく</sup>活躍した船を何と呼ぶでしょう。



- ① <sup>にほんかいぶね</sup>日本海船    ② <sup>かみかたぶね</sup>上方船    ③ <sup>きたまえぶね</sup>北前船    ④ <sup>さかたぶね</sup>酒田船

テキスト：P 3 5、P 4 4

常夜燈公園の隣にある「みちのく丸」は、北前船（北前型弁才船）を実寸大で復元したものです。

2. <sup>えどじだい</sup>江戸時代に、<sup>のへじみなと</sup>野辺地 <sup>きたまえぶね</sup>湊から北前船で運び出されたものはどれでしょう。

① <sup>だいず</sup>大豆

② <sup>さとう</sup>砂糖

③ <sup>もめん</sup>木綿

④ 紙



(野辺地町之図・江戸時代)

テキスト：P 4 4

大豆の他にも、銅や魚肥（肥料）等が大阪に向けて運ばれました。  
 木綿は、寒くて綿花が作れなかったので、上方から輸入していました。

3. <sup>きたまえぶね</sup>北前船で、船からの方位を知るために使っていたものは何でしょう。

① <sup>わじしゃく</sup>和磁石    ② <sup>メガネ</sup>メガネ    ③ <sup>そうがんきょう</sup>双眼鏡    ④ <sup>ぼうえんきょう</sup>望遠鏡

テキスト：P 6 7

資料館の歴史コーナーに展示されています。

4. <sup>きたまえぶね</sup>北前船によって運ばれてきていないものは、どれでしょう。

① <sup>じょうやとう</sup>浜町の常夜燈    ② <sup>のへじはちまんぐう</sup>野辺地八幡宮の御神燈    ③ <sup>じょうこうじ</sup>常光寺の常夜燈    ④ <sup>さいこうじ</sup>西光寺の石門

テキスト：P 4 2、P 4 3

5. 安政3（1856）年、浜町に台場（大砲を置いた場所）を造るためにつくられた道は、何というでしょう。

① 馬門道

② 新道

③ 袋道

④ 中道



だいばあとひょうちゅう  
(台場跡標柱)

テキスト：P 47

6. 藩の境界を示すため、江戸時代に造られた写真の史跡は何というでしょう。



テキスト：P 32、P 33

南部領と津軽領の境界に作られました。

二本又川を挟んで、それぞれ2基ずつ土盛りの塚があります。

① 一里塚

② 藩境塚 (通称・四ツ森)

③ 追分石

④ 庚申塚

7. 江戸時代、旅人にとって道のりを知る道標のため、主な街道の1里（約4km）ごとに

一里塚が作られました。野辺地にもありますが、何と呼ばれているでしょう。



いちりづか  
(一里塚)

テキスト：P 23

坊ノ塚の一里塚は、県史跡・土木学会選奨・土木遺産です。

承応2（1653）年には、すでにつくられていたと推測されています。

① 蒼前の一里塚

② 明前の一里塚

③ 馬門の一里塚

④ 坊ノ塚の一里塚

8. 写真の建物は、明治33（1900）年に建てられ、野辺地から北海道へと旅する人々の

宿泊施設として使われました。らせん状の階段やレンガ作りの蔵など、和洋折衷で造られたこの建物は何というでしょう。



テキスト：P 9 4

1988年のテレビドラマ・飢餓海峡の撮影現場になりました。

①大祐堂

②拓心館

③旧大萬旅館

④行在所

9. その珍しさから、江戸時代からよくお土産にされたこの石は、何と呼ばれたでしょう。



テキスト：P 1 1、P 2 7

①有戸石

②馬門石

③黒曜石

④奇妙石

10. 明治24(1891)年、上野～青森間を結ぶ東北本線が開通しましたが、冬期間は雪のため

しばしば運休することが多かったそうです。

この問題の解決方法を考えた、日本最初の林学博士は誰でしょう。



(林学博士の写真)

テキスト：P 9 6

本田氏は日比谷公園など全国各地の公園を設計したことから、「日本の公園の父」と呼ばれています。

①本多 静六

②板垣 退助

③野村 治三郎

④野坂 勘左衛門

11. 問10の人物が<sup>ていあん</sup>提案した<sup>かいけつほうほう</sup>解決方法とは、何だったでしょう。下から選んで下さい。

- ①「鉄道の<sup>ぼうせつ</sup>防雪には<sup>さく</sup>柵をもってすること」(防雪柵)  
②「鉄道の<sup>ぼうせつ</sup>防雪には<sup>あみ</sup>網をもってすること」(防雪網)  
③「鉄道の<sup>ぼうせつ</sup>防雪には<sup>ぼうせつりん</sup>森林をもってすること」(防雪林)  
④「鉄道の<sup>ぼうせつ</sup>防雪には<sup>かべ</sup>壁をもってすること」(防雪壁)

テキスト：P96

12. 問10の人の<sup>しゅっしんち</sup>出身地と<sup>えん</sup>野辺地町は、この<sup>ゆうこうとし</sup>縁をきっかけに<sup>きょうてい</sup>友好都市の<sup>むす</sup>協定を結び交流しています。<sup>ゆうこうとしめい</sup>友好都市名は何でしょう。

- ①<sup>かがわけんと</sup>香川県土庄町 ②<sup>さいたまけん</sup>埼玉県久喜市 ③<sup>さいたまけん</sup>埼玉県さいたま市 ④<sup>かがわけん</sup>香川県丸亀市

テキスト：P96

13. <sup>めいじ</sup>明治9(1877)年、<sup>めいじてんのう</sup>明治天皇の<sup>とうほくじゅんこう</sup>東北巡幸の際に、<sup>めいじてんのう</sup>明治天皇の<sup>あいば</sup>愛馬がなくなりました。

<sup>あいば</sup>愛馬の名前は何というでしょう。



テキスト：P37

銅像の制作者は、伊藤國男氏。  
昭和4(1929)年に建てられました。  
町指定有形文化財に指定されています。

- ①<sup>げつちょうごう</sup>月鳥号 ②<sup>ふうちょうごう</sup>風鳥号 ③<sup>ちょうちょうごう</sup>鳥鳥号 ④<sup>かちょうごう</sup>花鳥号

14. 問13の<sup>おんば</sup>御馬が<sup>まいそう</sup>埋葬されたお寺は、どこでしょう。

- ①<sup>かいちゅうじ</sup>海中寺 ②<sup>じょうこうじ</sup>常光寺 ③<sup>さいこうじ</sup>西光寺 ④<sup>へんしょうじ</sup>遍照寺

テキスト：P59

花鳥号は、なくなった翌日に常光寺に埋葬されました。

15. 写真の織物は、何と呼ばれていますか。

① 越後ちりめん

② 結城紬

③ 蝦夷錦

④ 京友禅



テキスト：表紙、P 84～87  
アイヌの人々を通じ、日本に入ってきた海外（清国）の織物。  
この交易は、サンタン交易と呼ばれています。

16. 浜町の常夜燈は、だれによって建てられたでしょう。



(浜町の常夜燈とみちのく丸)

テキスト：P 44、P 45

文政10（1827）年に建てられました。

常夜燈は、瀬戸内海塩飽諸島（現在の香川県丸亀市）の商人・橘屋吉五郎の北前船により野辺地湊まで運ばれてきました。

① 嶋屋 清吉

② 野坂 勘左衛門

③ 野村 治三郎

④ 仙台屋 彦兵衛

17. 浜町の常夜燈は、何のために建てられたでしょう。

① 夜に航海する船へ湊の位置を知らせるため

② お祭り会場の照明として使うため

③ 事件が起きた時に危険を知らせるため

④ 観光名所として人を呼び込むため



(浜町の常夜燈)

テキスト：P 44、P 45

常夜燈には、毎年旧3月10日から10月10日までの間、毎日火が灯されました。浜町の三国屋さんが代々続けていたそうです。

18. 県天然記念物に指定されている「西光寺のシダレザクラ」の樹齢は、何年を超えているといわれているでしょう。



(シダレザクラ)

- ① 200年
- ② 500年
- ③ 600年
- ④ 700年

テキスト：P16、P60  
野辺地の廻船問屋・野坂勘左衛門が、延享2（1745）年に大阪から取り寄せて植えたと言われています。

19. 野辺地町のエドヒガン（町指定天然記念物）は、日本の北限であるといわれています。町内のどこに生えているでしょう。

- ① 十符ヶ浦海水浴場
- ② 烏帽子岳
- ③ 西光寺
- ④ 愛宕公園



テキスト：P16、P34、P35

20. 江戸時代、外敵から町を守るため、町内に15人ずつ同心（今でいう警備員）が置かれました。現在の地区（町内）名で、どこに置かれたでしょう。

- ① 新町と金沢
- ② 馬門と有戸
- ③ 鳴沢と金沢
- ④ 枇杷野と新町

テキスト：P50

21. 野辺地には、何時代から人が住んでいたでしょう。

- ① 旧石器時代
- ② 平安時代
- ③ 縄文時代
- ④ 弥生時代

テキスト：P70

22. この写真の木製品は、どの遺跡から見つかったでしょう



もくせいひん  
(木製品)

テキスト：P 72、P 73

木製品は、テキストが発行された時は町指定有形文化財でした。現在は「赤漆塗木鉢」と呼ばれ、国指定重要文化財となっています。

- ①向田 (18) 遺跡    ②三内丸山遺跡    ③寺ノ沢遺跡    ④槻ノ木 (1) 遺跡

23. この写真の木製品は、突起の部分があるもので飾り付けされていました。

何で飾られていたでしょう。

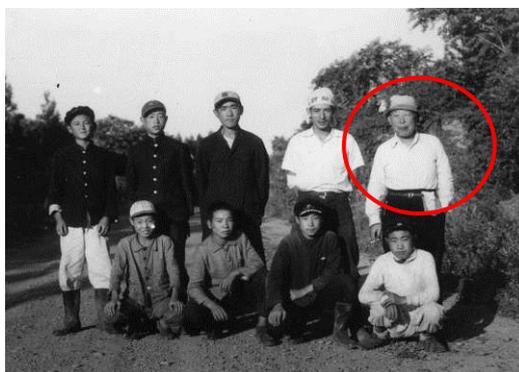
- ①金  
②銅  
③ヒスイ  
④貝



もくせいひん とつきぶぶん  
(木製品・突起部分)

テキスト：P 72、73  
日本最古の螺鈿漆器と言われています。

24. 野辺地町で最初に本格的な考古学の研究を始めたのはだれでしょう。



(赤マルで囲まれた人物)

- ①河島 靖岳    ②野村 治三郎    ③松本 彦次郎    ④角鹿 扇三

テキスト：P 69

資料館には、角鹿コレクションというコーナーがあり、角鹿氏から寄贈頂いた考古資料を展示しています。

25. 問 24 の人が調査した遺跡で、県重宝に指定された石器群が出土した遺跡名はどれでしょう。

- ①野口貝塚 <sup>のぐちかいづか</sup> ②長者久保遺跡 <sup>ちやうじゃく ぼいせき</sup> ③大平山元遺跡 <sup>おおだいやまもといせき</sup> ④二ッ森貝塚 <sup>ふたつ もりかいづか</sup>

テキスト：P 6 9

石器は、現在資料館に展示されています。

26. この写真の土偶は、何という遺跡から発見されたでしょう。

①松ノ木 (1) 遺跡 <sup>まつのき いせき</sup>

②有戸鳥井平 (5) 遺跡 <sup>ありとりいたい いせき</sup>

③有戸鳥井平 (4) 遺跡 <sup>ありとりいたい いせき</sup>

④向田 (3 3) 遺跡 <sup>むかいだ いせき</sup>



どぐう  
(土偶)

テキスト：P 7 4、P 7 5

27. 問 26 の土偶は、〇〇重要文化財に指定されました。

〇〇に当てはまるものはどれでしょう

テキスト：P 7 4、P 7 5

- ①国 ②野辺地町 ③青森県 ④世界

28. 問 26 の土偶の特徴に、あてはまらないものはどれでしょう。

- ①自立できる ②板状である <sup>ばんじょう</sup> ③欠けている部分がない ④高さが10cmである

テキスト：P 7 4、7 5

29. 問 26 の土偶は、その姿にちなんだある愛称がつけられました。どんな愛称でしょう。

① 縄文 くらら

② 縄文 ハイジ

③ 板状 立子

④ 縄文 ペーター



テキスト：P 74、75  
平成30年2月、一般公募により愛称が決定しました。  
由来は、くららが立った！から。

30. 問 26 の土偶は、海外で2回展示されました。フランスとどこでしょう。

① イタリア ② 中国 ③ イギリス ④ アメリカ

テキスト：P 74、P 75



31. 写真の緑釉陶器は、野辺地町の平安時代の遺跡から見つかった、他地域との交流を示す貴重な遺物です。どこ（現在の地名）で作られた陶器でしょう。



りよくゆうとうき  
(緑釉陶器)

① 大阪府

② 香川県

③ 佐賀県

④ 滋賀県

テキスト：P 76  
どのような経緯で野辺地にやってきたのでしょうか。

32. まかど温泉スキー場で発見されて、大切に保護<sup>ほご</sup>しているハッチョウトンボの大きさはどのくらいでしょう。



(ハッチョウトンボ)

テキスト：P 6  
青森県レッドデータリストAランクの、絶滅危惧種です。

- ① 1 c m    ② 2 c m    ③ 3 c m    ④ 4 c m

33. ハッチョウトンボのメスは何色でしょう。

- ① ピンク    ② 黄色    ③ 青    ④ 赤

テキスト：P 6

34. 写真のこの石は、野辺地では何と呼ばれている石でしょう。



テキスト：P 9  
現物は、資料館に展示されています。

- ① ありといし    ② だんご石    ③ あんこ石    ④ まんじゅう石

35. えぼし岳では、青森県の木「青森ヒバ」が多く見られます。では、青森ヒバの花が咲くのはいつでしょう。



(青森ヒバ)

テキスト：P 7  
冬の最も寒い時期に咲く花のため、めったに見ることはできないそうです。

- ① 春    ② 夏    ③ 秋    ④ 冬

36. 野辺地町の名物（特産品）・野辺地葉つきこかぶは、どんな気候で育つでしょう。

①寒冷

②冷涼

③温暖

④熱帯



テキスト：P 1 1  
生で食べられる甘いカブです。

(野辺地葉つきこかぶと畑)

37. 烏帽子岳の高さ（標高）は、どれぐらいでしょう。



(烏帽子岳)

テキスト：P 1 2～1 5

- ①約420m    ②約520m    ③約620m    ④約720m

38. 野辺地湾で育つ、町の名物（特産品）は何でしょう。

- ①クロマグロ    ②マダラ    ③サザエ    ④ホタテ貝

テキスト：P 8

39. 野辺地町の「町の花」は何でしょう。

- ①ハマナス    ②ハマエンドウ    ③スカシユリ    ④ハマギク

テキスト：P 1 0、P 1 1

40. 茶がゆに使われるお茶は何でしょう。



(写真左：茶がゆ)  
(写真右：茶葉)

- ①せん茶 ②ほうじ茶 ③ウーロン茶 ④草茶 (カワラケツメイ)

テキスト：P 8 2、P 8 3

北前船により、上方から伝わったといわれています。

41. 煮和えに使われる材料は、わらび・人参・大根ともう一つは何でしょう。

- ①ごぼう ②とうふ ③昆布 ④みつば

テキスト：P 8 2、P 8 3

郷土料理の1つ。精進料理がルーツと言われ、豆腐を魚卵にしたものは子和えと呼ばれます。

42. 次の人物の中で、名誉町民ではない人は誰でしょう。

テキスト：P 8 8～9 2

野坂勘左衛門は野辺地の商人でした。

- ①野村 七録 ②鈴木 逸太 ③8代目野村 治三郎 ④野坂 勘左衛門

43. この写真は、野辺地の何の行事を写した写真でしょう。



テキスト：P 7 8、P 7 9

八幡宮の例祭の付け祭として始まったお祭り。現在は夏に行われていますが、昔は9月に行われていました。

- ①野辺地町文化祭 ②春まつり ③常夜燈フェスタ ④のへじ祇園まつり

44. 問 43 の写真の女の子達が演奏する囃子を、何というでしょう。

- ①神楽 ②祭り日 ③祇園囃子 ④杓子舞い

テキスト：P 7 8、P 7 9

囃子は、全部で5曲。

昔は、更に2曲あったと言われていました。

45. この写真は、野辺地に伝わる盆踊りです。何という名前でしょう。



テキスト：P 8 1

- ①ササ踊り      ②野辺地沖揚げ音頭      ③狐舞      ④えんぶり

46. 北海道のニシン漁で歌われていた『沖揚げ音頭』が元歌と言われている民謡は、何でしょう。



(野辺地沖揚げ音頭)

テキスト：P 8 1

- ①津軽じょんがら節      ②ソーラン節      ③花笠音頭      ④ねぶたばやし

47. 愛宕公園の石畳は、あるお城の石垣と同じ石が使われています。

何というお城でしょう。



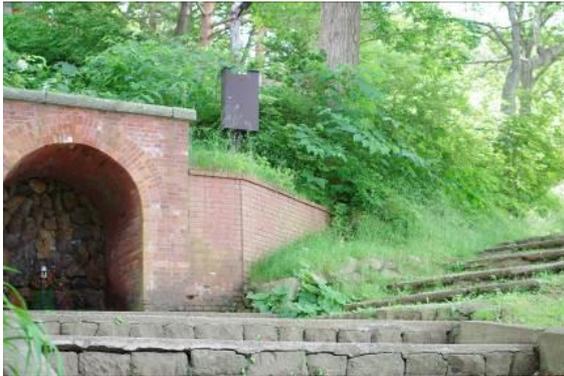
(愛宕公園の石畳)

テキスト：P 3 5

この石は、香川県小豆島土庄町から北前船によって運ばれてきました。

- ①弘前城      ②大阪(大坂)城      ③彦根城      ④熊本城

48. <sup>あたごこうえん</sup>愛宕公園の「<sup>ごぜんすい</sup>御前水」は、<sup>の</sup>ある人が飲んだと伝えられています。だれでしょう。



(レンガ部分内の水が<sup>ごぜんすい</sup>御前水)

テキスト：P 34、P 35  
1876（明治9）年、明治天皇が野辺地に宿泊された際、料理や飲用に利用されたと言われています。

- ① <sup>しょうわてんのう</sup>昭和天皇    ② <sup>たいしょうてんのう</sup>大正天皇    ③ <sup>めいじてんのう</sup>明治天皇    ④ <sup>てんのう</sup>現在の天皇（<sup>きんじょうてんのう</sup>今上天皇）

49. この<sup>たてもの</sup>建物は、<sup>なにじだい</sup>何時代に造られた<sup>たてもの</sup>建物でしょう。



(<sup>きゅうのむらけじゅうたくはなれ</sup>旧野村家住宅離れ・<sup>あんざいしょ</sup>通称：行在所)

テキスト：P 95  
国登録有形文化財に登録されています。  
明治天皇が東北巡行で野辺地に訪れた際、2回宿泊されました。なお、行在所は1899（明治23）年に火事で焼失しましたが、1890（明治24）年に再建され、現在まで残っています。

- ① <sup>えどじだい</sup>江戸時代    ② <sup>めいじじだい</sup>明治時代    ③ <sup>たいしょうじだい</sup>大正時代    ④ <sup>しょうわじだい</sup>昭和時代

50. この<sup>たてもの</sup>写真の建物は、何と呼ばれているでしょう。



テキスト：P 63  
県重宝に指定されています。  
1822（文政5）年、航海安全を祈り、野辺地町の<sup>かいせんといや</sup>廻船問屋（北前船を持っていた商人）達によって<sup>かんじょうきしん</sup>勸請寄進されました。

- ① <sup>ことひらぐうほんでん</sup>金刀比羅宮本殿    ② <sup>のへじはちまんぐうほんでん</sup>野辺地八幡宮本殿    ③ <sup>まかどくまのじんじゃほんでん</sup>馬門熊野神社本殿    ④ <sup>ありといなりじんじゃほんでん</sup>有戸稲荷神社本殿